授業科目　神経科学

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	理学，作業，言語，義肢
今村　徹	開講時期	前期	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>】
神経科学とは「神経」の「科学」のことではない．神経系の正常機能と構造の知識に裏付けられた論理的な思考によって，神経系を障害による症状と疾患の病態を理解することを目的とする．したがって，1年次の『生理学』および『解剖学』を後継する科目であると同時に，2年次後期に開講する『臨床神経学』の先行科目と位置付けられる．授業の題材は神経系の症状と疾患である．1年次の学習内容を含む生理学・解剖学の知識・理論と神経症状・疾患のメカニズムは密接に結びついている．1セッション（計2日間）の授業ごとに，①神経生理学・神経解剖学，②実際の臨床場面で用いられる診察・検査法，③代表的な症状・疾患の理解，にいたるまでを一連の流れとして学ぶ．授業中の演習課題とともに，予習項目と復習課題を授業ごとに指示する．

【<学習目標>】
神経疾患を逐次的に暗記することではなく，神経科学の考え方で神経症状と疾患を理解することが目的である．個別の学習目標は下記のセッションごとに提示する．

回数	授業計画又は学習の主題		学習方法･学習課題又は備考
	以下の主題を扱う3つのセッション，計7回の授業を行う． 各セッションは原則として2日間に渡って開講されるが，日程は別途通知する．		担当教員：今村　徹
	末梢神経系	下位運動ニューロンと末梢神経の解剖学・生理学 神経伝導速度検査 末梢神経疾患	学生を被検者とする神経伝導速度検査の演習を含む
	脊髄	上位運動ニューロン，体性感覚系と脊髄の解剖学・生理学 筋伸張反射診察 脊髄疾患	学生同士で行う筋伸張反射診察の演習を含む
	脳	頭蓋内中枢神経系の運動系，体性感覚系の解剖学 頭部MRI，MRA画像検査 脳血管障害	学生のPCにインストールした頭部MRI，MRA画像を用いた演習を含む

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年･価格>
教科書	簡要神経学	岩田誠，岩田淳訳	MEDSI	2000年，3800円
	ベッドサイドの神経の診かた：改訂16版	田崎義昭，斎藤佳雄	南山堂	1994年，7200円
参考書（授業中グループに1冊貸与）	画像診断のための脳解剖と機能系	久留裕，真柳佳昭訳	医学書院	1995年，19000円
その他の資料	適宜配布する			

【評価方法】	【履修上の留意点】
定期試験による．（定期試験の受験許可は授業中の課題と予習課題，復習課題の理解，提出を前提とする）	

言語聴覚学科　専門